

第3回 かのや未来デザイン会議

期 日：令和5年2月16日（木）

時 間：10:00～12:00

場 所：議会棟3階 全員協議会室

会 次 第

1 開 会

2 対策本部長あいさつ

3 協 議

（1）重点プロジェクト（案）について

（2）その他

4 閉 会

1 趣旨

本プロジェクトでは、主なターゲットをUターン者等(鹿屋と縁のある人)や子育て世代とし、まずは鹿屋をたくさんの人に知ってもらい、テレワーク等の柔軟で多様な働き方ができる環境づくりや魅力ある雇用創出、起業等の夢の実現を支援することで、地方暮らしを希望する人が「働きたくなる」、「住みたくなる」まちを目指します。

2 鹿屋で「働きたい」、鹿屋に「住みたい」と思ってもらうための方向性

- (1) 縁(つながり)を深める仕組みづくり
- (2) 多様な働き方の支援
- (3) 夢と希望を叶える支援

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(1) 縁(つながり)を深める仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ▶“届く・つながる”情報発信◎ 若者向けコンテンツやコミュニティ機能の導入を検討し、相互に情報発信や情報提供できる仕組みをつくるなど、市内外在住を問わず誰でも縁(つながり)を維持できるようにするとともに、生の鹿屋情報(行政情報だけでなく、市民目線の情報等)を広く発信します。 ▶デジタル技術を活用した鹿屋暮らしを体験できる仕組みづくり 遠隔地にいる人でも気軽に手軽に鹿屋の魅力に触れられるように、鹿屋暮らしを疑似体験できる仕組みをつくりたい。 ※メタバースの活用 など ▶移住(希望)者に“響く対応” 地域において移住者の受皿づくりに取り組み、移住(希望)者が鹿屋との「縁(つながり)」を実感できるようにします。 ▶子育て世帯向けの移住体験メニューの充実 大人だけでなく、子どもも鹿屋を体験できるメニューを充実します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外にいても地元との縁(つながり)を実感でき、将来のUターンにつながる。 ・双方向で情報のやり取りができる。 ・鹿屋の情報がより届きやすくなる。 ・鹿屋に縁のない人にも、若者のネットワークで情報が伝わる。 ・移住者が定住する。

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(2) 多様な働き方の支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶新たな産業の創出と多様な働き方ができる環境づくり◎ 都市圏企業、地元企業、地元の人材、テレワーカーなど、本市に様々な形で関わる人たちのネットワークの構築や交流を促進し、新たな産業の創出を推進するとともに、サテライトオフィスの誘致など、地方における多様な働き方の可能性を広げます。 ※都市圏企業と市内企業の交流促進(オンラインコミュニティなど) ※リナシティかみや市民交流センター情報プラザにコワーキングスペースを整備 など ▶魅力的な雇用の場の創出と地元就職支援◎ 新たな工業団地を整備し、魅力的な雇用の場を創出するとともに、地元事業者の若者人材(新規学卒者等)の確保のため「地元雇用促進研究会」を設置し、採用のノウハウの共有や共同の取組により、若者の地元就職率を高めます。 ▶地域おこし協力隊制度の活用 地域おこし協力隊制度を活用し事業承継等を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟で多様な働き方ができる。 ・地元で働く若者が増える。 ・新たな産業や雇用につながる。 ・地元産業が維持できる。

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(3) 夢と希望を叶える支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶起業チャレンジ支援◎ 高校生・大学生が、起業など様々な就業観を養うためのセミナーを実施するとともに、鹿屋の資源を生かした起業にチャレンジする人や大学発ベンチャーの設立・誘致などをサポートする仕組みをつくりたい。 ▶新生活スタートへの支援 住宅取得に対する支援や移住支援金の支給など、鹿屋で新たな生活を始める人をサポートします。 ▶憧れのライフスタイルへの支援 田舎ならではの、畑付き一軒家暮らしや山・海のそばでの暮らしなど、憧れのライフスタイルを提案し、実践できるよう支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い頃から起業意識を醸成できる。 ・鹿屋で起業にチャレンジしたいと思う人が増える。 ・新たな産業や雇用につながる。 ・地方暮らしの候補先としての優先度が上がる。

1 趣旨

本プロジェクトでは、結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶え、安心して「かのやっ子」を産み育てられる環境づくりに取り組みます。

2 鹿屋で結婚したい、子育てをしたいと思ってもらうための方向性

- (1) 出会いや結婚へのサポート
- (2) 子育て支援の充実
- (3) 若者の人生設計へのサポート

方向性	主な取組（◎：新規性または優先度の高い取組）	効果
(1) 出会いや結婚へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶新婚生活への経済的支援◎ 新婚世帯に対し、新生活に係る費用(新居の家賃、引越費用等)を支援します。 ▶出会いの機会の創出 民間団体等と連携した出会いイベントを開催します。 ※ 若者の出会いの場を創出するためのアウトドアをテーマとしたイベント など 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚に対する経済的不安が緩和される。 ・結婚を希望する人へ出会いの場を提供することで、婚姻数の増加につながる。

方向性	主な取組（◎：新規性または優先度の高い取組）	効果
(2) 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶子育てに対する負担の軽減◎ 母親の産後ケアや乳幼児の短期預かり(ショートステイ)受入施設の充実、病児保育の受入体制の見直しなど、子育て世帯を支える体制を整備します。 ※ 宿泊産後ケアの経済的負担の軽減、短期預かり受入施設数の増 など ▶子育て世帯向けの新たなイベントの創出◎ 子どもが主役となり体験・学び・交流できる「わくわくキッズまつり」など、親子でワクワクするイベントを開催します。 ▶子育てに対する新たな経済的支援◎ 16歳から18歳までの子どもの養育者を対象とした市独自の「高校生応援給付金」の支給や小中学校の学校給食費への支援を実施します。 ▶地域とともに子育てできる環境づくり 寺子屋の増設や子ども会活動の活性化など、地域住民が協力して子育てを応援する環境づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにかかる様々な負担が緩和され、不安なく子育てを行うことができる。 ・鹿屋市で子育てをしたくなる。

方向性	主な取組（◎：新規性または優先度の高い取組）	効果
(3) 若者の人生設計へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶高校生を対象としたライフプランを考える機会の提供◎ 高校生が将来の仕事や結婚、子育てなどの人生設計(ライフプラン)に関して、必要な知識や情報を学ぶセミナー等を開催します。 ▶新たな奨学資金制度による若者支援◎ 若者が家庭事情や経済的理由で進学を諦めることがないよう、条件付き奨学資金制度を創設します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が、将来について考える機会を持ち、よりよい人生設計ができる。 ・若者の進学に伴う経済的不安が緩和される。

1 趣旨

本プロジェクトでは、地域に関わる全ての人や団体が協力し、支え合いながら「みんなで地域を経営する」という意識を持ち、「地域課題の解決」に向けた取組を効率的かつ効果的に推進できる体制を整え、未来につながる持続可能な地域づくりを目指します。

2 持続可能な地域づくりのための方向性

- (1) 地域経営へのチャレンジ
- (2) 地域課題解決への取組強化

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(1) 地域経営へのチャレンジ	<p>▶多様な市民活動団体が支え合う仕組みづくり◎ 持続的な地域経営を可能とするために、市民活動団体が必要とする人材の掘り起こしや育成、団体間の連携、地域活動を補完するためのデジタル技術の活用を支援するなど、多様な市民活動団体が相互に支え合う仕組みづくりに取り組みます。 ※ 町内会が主体的に実施する課題解決や交流活動への支援 ※ IoT機器を活用した見守り機器導入支援 など</p> <p>▶地域経営を支える総合支所等の機能の見直し◎ 地域経営のサポート役となる総合支所等の機能を見直すなど、地域の実情に応じた支援体制を整えます。</p> <p>▶複数の機関が連携した困りごと解決の仕組みづくり 一人暮らしの高齢者の介護や引きこもり、子育てと介護のダブルケアなど、複雑化・複合化する困りごとの相談等について、市民に身近な民生委員や社会福祉協議会、地域包括支援センター等の各分野の支援機関と連携し、迅速かつ円滑に対応できる体制を整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動が活性化し、持続可能な地域づくりが可能となる。 ・地域の実情に応じて、迅速で効果的なサポートが可能となる。 ・複数の困りごとを抱える市民が相談しやすくなり、早期解決が図られる。

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(2) 地域課題解決への取組強化	<p>▶移動ニーズや地域特性を踏まえた移動手段の確保◎ 乗合タクシーや自家用有償旅客運送、ボランティア輸送など、移動ニーズや地域特性を踏まえた移動手段の確保に取り組めます。 ※ 路線バスやくるりんバス、乗合タクシーなどの地域交通ネットワークの再編(利便性の向上)</p> <p>▶地域活動を支援する仕組みづくり◎ 高齢者の見守りや買物支援を行うサロン活動などを多様な主体と連携して取り組む仕組みづくりや、地域の相談、困りごとを市職員がサポートしやすい仕組みづくりに取り組みます。 ※ 域外の人材による鹿屋の地域資源を生かした地域の活性化や課題解決につながる取組 など</p> <p>▶安心して暮らせる住みよい環境づくりの推進 宅地建物取引業協会や民間事業者等と連携した空き家の利活用の促進や地域における住宅取得等への支援など、安心して暮らせる住みよい環境づくりに取り組みます。 ※ 危険空き家の解体撤去費用の一部助成、多世代同居家族や定住世帯等への住宅改修支援 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段を有さない高齢者等の買物や通院等に係る利便性が向上する。 ・市職員や民間団体等が地域を支援することで、地域課題に対する多様な支援の仕組みが生まれ、生活の利便性が向上する。 ・民間団体との連携により、空き家の利活用が進むことで、地域内の空き家が解消されるとともに、住宅取得支援等により安心して暮らせる持続可能な生活が維持される。

1 趣旨

市民のシビックプライド(まちへの誇りや愛着)の醸成は、「住み続けたい」、「人に勧めたい」という想いと「まちづくりにかかわりたい」という行動につながるとともに、域外への「共感」へとつながります。本プロジェクトでは、鹿屋と関わる全ての人々が「ワクワクする」、「鹿屋を好きになる」、「鹿屋を深く知ることができる」取組を推進することで、シビックプライドを持つ市民や「応縁人口」を増やし、夢と希望に満ちあふれる元気なまちを目指します。

2 シビックプライド醸成のための方向性

- (1) まちの特性を生かした魅力づくり
- (2) まちに誇りや愛着を持つ人づくり
- (3) まち・人・環境に優しい地域づくり

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(1) まちの特性を生かした魅力づくり	<p>▶まちの特性を輝かせる取組の推進◎</p> <p>「スポーツ」や「ばら」、「食と農」、「平和」、「文化・芸術」という、まちの特性を市民と共有し、市民一体となり新たなまちの魅力をつくり育てることで、認知度を高め、まちへの愛着と人に勧めたいという気持ちを醸成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一過性のものではない市民一体となり作り育てるスポーツや文化・芸術の大型イベントの開催 ・リニューアルした「かのやばら園」を中心とした“ばら”の魅力の再発信 ・農業や田舎暮らし、食の魅力等を誰もが身近に感じ、楽しく体験できる場の創出 ・まちの多くの人に愛される「食」やその魅力を域外へ届ける「食」の開発等への支援 など <p>▶スポーツツーリズムの推進</p> <p>プロスポーツチームや鹿屋体育大学と連携し、「スポーツのまち かのや」の特性を生かした「スポーツをする、観る、支える」×「鹿屋や大隅の魅力」を融合したスポーツツーリズムを推進します。</p> <p>※ スポーツ合宿等の競技者や関係者のほか、大会等を観戦に来られた方などを対象としたツーリズムの推進</p>	<p>鹿屋の新たな魅力を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民とともに作り上げること ・市民等が体験できること <p>で市民のまちへの愛着を育むとともに、人に勧めたいという気持ちが生まれる。</p>

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(2) まちに誇りや愛着を持つ人づくり	<p>▶歴史・文化に触れ、故郷を知る機会の創出◎</p> <p>「かのや風土記」等を活用し、小中高生を中心に、まちの歴史や文化を学ぶ場を提供するほか、知りたくなる・学びたくなるきっかけづくりとして検定等を実施します。</p> <p>▶鹿屋発の文化芸術活動の振興と新たな文化ゾーンの形成◎</p> <p>市民の心の豊かさと創造性を育むため、地域に根ざした文化芸術活動を振興するとともに、集う・学ぶ・遊ぶ・結ぶなどの新たな付加価値を持った文化ゾーン(文化会館、図書館等)の在り方について検討します。</p>	<p>故郷の歴史、文化を知る機会、場所を作ることで、まちへの誇りと愛着を生み、「まちづくりにかかわりたい」という人づくりにつながる。</p>

方向性	主な取組(◎:新規性または優先度の高い取組)	効果
(3) まち・人・環境に優しい地域づくり	<p>▶宣言から実現へ「ゼロカーボンシティかのや」に向けた取組の推進◎</p> <p>2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロの実現に向け挑戦するため、全ての市民が“我が事”として気持ち一つにする取組や生活スタイルを提案・推進し、シンボリックな市民活動へ育て上げます。</p> <p>※ 地球温暖化対策実行計画を策定し、それに基づく市民・企業向けセミナーやエコスクールなどの開催、市有施設への太陽光発電の設置 など</p> <p>▶市民の市民によるSDGsの達成に向けた取組への支援</p> <p>SDGsの達成に向けた市民活動(ボランティアや国際貢献活動、多様性、多文化共生社会の実現に向けた取組など)を後押しするとともに、市民活動が日常にある環境づくりを推進します。</p> <p>※ 発展途上国へのスポーツ用品等の物資提供や資源物リサイクル対象にプラスチック製品を追加するリユース活動など</p>	<p>まち(地域)や人、環境のために目標を持って行動することは、鹿屋市民としての一体感とまちの品格や誇りにつながるほか、域外への共感にもつながる。</p>